

平成 28 年 度

八代市議会文教福祉委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 所管事務調査 1

平成 28 年 8 月 4 日（木曜日）

文教福祉委員会会議録

平成28年8月4日 木曜日

午前 9時00分開議

午後 3時04分閉議（実時間12分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・教育に関する諸問題の調査
（泉第八小学校、泉小中学校（管内調査））

○本日の会議に出席した者

委員長	友 枝 和 明 君
副委員長	庄 野 末 藏 君
委 員	太 田 広 則 君
委 員	島 田 一 已 君
委 員	田 方 芳 信 君
委 員	橋 本 幸 一 君
委 員	前 垣 信 三 君
委 員	幸 村 香代子 君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

教育部長	釜 道 治 君
教育部次長	桑 田 謙 治 君
教育施設課長	有 馬 健 一 君

○記録担当書記 松 本 和 美 君

（午前9時00分 開会）

○委員長（友枝和明君） おはようございます。

（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

それでは、定刻となり定足数に達しておりますので、ただいまから文教福祉委員会を開会いたします。

○所管事務調査

・教育に関する諸問題の調査（泉第八小学校、泉小中学校（管内調査））

○委員長（友枝和明君） 当委員会の所管事務調査は、教育に関する諸問題の調査、保健・福祉に関する諸問題の調査の2件であります。今日は、そのうち、教育に関する諸問題の調査を議題とし、教育部所管施設についての管内調査を行うこととしております。

なお、今回実施します管内調査については、去る7月19日に予定しておりましたが、大雨等により延期して、本日実施するものであります。皆様の御理解をよろしくお願いいたします。

本日の日程につきましては、お手元に配付しておりますレジュメのとおりでございますが、管内調査の行程につきまして、執行部から説明を願います。

○教育部長（釜 道治君） おはようございます。今日は、6月8日に視察をいただきました件に続きまして、泉町内の学校施設の熊本地震におきます被害状況と学校施設の耐震化の現況について、御視察をいただくことになっております。教育委員会としましても、現地を見ていただくということは、非常にありがたいというふうに思っております。暑い中ではございますが、1日どうぞよろしくお願いいたします。

本日の行程等について、桑田次長のほうから概略の説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○教育部次長（桑田謙治君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）本日の管内調査につきましては、お世話になります。それでは、本日の文教福祉委員会の管内調査の日程について御説明させていただきます。

なお、この時間におきましては、本日の日程についてのみ御説明させていただきます。管内調査の内容につきましては、配付資料に基づきまし

て、現地にて御説明させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

お手元のほうに、泉・五家荘ロードマップをお配りしてと思いますが、地図の右側下のほうに、文というところに黄色のマーカーをしてると思いますが、そこが泉第八小学校でございます。

それと、今度は左上のところに、また文というところに黄色のマーカーをしてるところがあります。これが、泉小中学校でございます。本日はこの2カ所の小中学校の管内視察を予定させていただいております。

まず、泉第八小学校におきましては、教職員住宅及び体育館非構造部材耐震改修工事のほう、それと、泉小中学校の武道場非構造部材耐震改修工事及び熊本地震によります校舎屋上塔屋の被害状況、コンクリート壁亀裂等の視察を予定しているところでございます。

それでは、行程等につきまして御説明をしたいと思います。

まず、最初に泉第八小学校の視察を予定いたしております。泉町樅木にあります泉第八小学校へは、県道25号宮原五木線で東陽町を過ぎ、大通峠を越えて五木村役場付近に至ります。ここから、国道445号を北上し、五家荘椎原を通過し、樅木にあります泉八小に向かう予定といたしております。到着時間は11時30分頃を見込んでいるところでございます。途中、道の駅子守唄の里五木で、小休止を予定をいたしております。泉八小までの時間は、約2時間程度を見込んでいるところでございます。

泉第八小学校では、先ほど申しあげましたように、教職員住宅及び体育館の視察に40分程度、予定をしているところでございます。

泉八小の視察後、同じ樅木地区内になります、天領庵で昼食を予定しております。昼食後、泉小中学校へ向かうことといたします。

泉小中学校へのルートとしましては、国道445号線を北上しまして、美里町との境となります

二本杉峠付近から、県道159号樅木河合場線に折れまして、横手、河合場を経て泉小中学校への到着となります。到着時間を、昼食の時間で前後いたしますが、14時10分頃を予定いたします。

泉小中学校では、泉小中学校の武道場非構造部材耐震改修工事の状況及び校舎屋上等の被害状況を20分程度、予定をいたしてるところでございます。14時30分頃に泉小中学校を出発いたしまして、県道52号小川泉線及び国道443号を通りまして、東陽町、宮原経由で鏡支所に15時10分頃の到着となります。到着後、委員会室にて、質疑・意見を行うということと予定しております。

御存知のとおり、本日の行程はカーブが連続します。山道の運行であり、地震や大雨の影響等で道路状況が十分でないことが予想されますので、車酔い等にくれぐれも御注意していただければと存じます。一応、道路状況につきましては、関係機関に確認をいたしまして、通行のほうは大丈夫だということを今確認をいたしております。

最後になりますが、本日は長時間の管内調査となり大変お世話になります。よろしくお願い申し上げます。

以上で、日程説明を終わらせていただきます。

○委員長（友枝和明君） ありがとうございます。

ただいまの行程につきまして、御質問がございましたらお願いいたします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（友枝和明君） ないようであれば、管内調査のため、しばらく休憩いたします。

（午前9時05分 休憩）

（午後2時57分 開議）

○委員長（友枝和明君） それでは、休憩前に引き続き、文教福祉委員会を再開いたします。

ただいま、視察してまいりました教育部所管施設につきまして、何か質疑、御意見等はありませ

んか。

○委員（橋本幸一） 泉第八小学校の教職員住宅のところで、過疎債ということで、あそこは辺地債対応はできなかったんですか。

○教育施設課長（有馬健一君） この建設工事の概要の財源内訳の起債の関係ですか。（委員橋本幸一君「はい、そうです」と呼ぶ）過疎対策事業債を充てております。（委員橋本幸一君「あそこは、辺地債でも可能な地帯じゃなかったかなと思って。辺地債の対応はできなかったのでしょうか。過疎債よりもっと僻地で辺地の……」と呼ぶ）そこは、ちょっと一応財政課といろいろこの財源につきましては、一番有利な財源ということで、この過疎対策事業債、これが充当率が100%になるということから、一番有利ということで、この起債を充てるということで進めてまいりましたが。（委員橋本幸一君「あの地帯ってというのは、まだ有利な辺地債というのが、確か私もあったんじゃないかと記憶してたんですが、この前過疎債と同時に辺地債の計画も確か出とったみたいで。これについては、後から聞いといてください」と呼ぶ）はい、わかりました。

○委員（橋本幸一君） それと、これは要望ですが、結局、教職員住宅3600万ですが、これは非常に一般的に私たちが考えたとき、高いなっていう感じがするんですが、極力ですね、安くできるような方向で考えていただければっていう、満額使うんじゃないくてですね。やっぱり、結局4世帯だったならば、あの住宅で約900万でしょう。高いなっていう、そういう感じもするわけですから、その辺は極力努力していただきたいと思います。これはもう、要望です。

○委員長（友枝和明君） 今の件につきましては、有馬課長、過疎債、辺地債ですか、これについては調べとっていただきたいと思います。

ほかにありませんか。

○委員（太田広則君） 要望です。実際、きょう見させていただきまして、既存のですね、教職員

住宅、確かに地震によって、特にグラウンド側から見た右側のところのほうがひどいということで、そして、どうしてもあそこ、更地にした後の、先ほど立ち話の中でもお話をしましたが、のり面で、あそこの部分を、全くコンクリート化してしまうと、非常に高価な処置になるというふうな中でですね、今、全国の自治体で、私も数年前に一般質問で提案させていただいたんですが、土砂災害に対しては、今、全天候型フォレストベンチ工法というのがありまして、のり面をアンカーボルトで引っ張ってですね、段差をつけていくっていうやり方、これ自治体が取り組んでいます。実際に実績も出てきてますし、これは非常に安価な方法であり、そしてまた、そこに据える木材だったりして、子供たちの教育にもなっています。ですから、一遍にコンクリートをばっとしてしまうと、非常に見かけも悪いでしょうし、高価だという中で、そういった全天候型フォレストベンチ工法というのも一回ですね、土木課の皆さんが近々見にこられると、専門家が見られるということでございますので、価格も抑えられるという工法ですので、その辺のこともですね、視野に入れたがりのり面対策はですね、ぜひやっていていただきたいというふうに要望しておきます。

以上です。

○委員長（友枝和明君） ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（友枝和明君） ないようでしたら、以上で教育部所管施設の管内調査を終了いたします。

そのほか、当委員会の所管事務調査について、何かありませんでしょうか。

○教育部長（釜 道治君） 私のほうから1点お願いをよろしゅうございますか。

本日は、どうもありがとうございました。

今年度も既に4カ月過ぎた状況でございますが、これまではどうしても、地震対応ということでございましたが、当然、4カ月の間に学校教育関係、社会教育関係とも、いろんな課題への対応してお

りますが、なかなか委員会のほうに御報告する機会もありませんでした。そういうことから、今後また委員長、副委員長、事務局にも御相談をさせていただいて、できるだけそういう報告の機会を設けさせていただきたなというふうに思っておりますので、その点よろしくお願ひしたいということで今発言をさせていただいたところでございます。

○委員長（友枝和明君） ただいま、釜部長からも発言がございましたように、今後、委員の方々にも、いろんな要望事項とか、これからまた市内のほうの非構造部材の耐震工事の視察も、また御要望があれば実施したいと思いますので、ひとつ今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、以上で、本日の委員会の日程は、全部終了いたしました。これをもって、文教福祉委員会を散会いたします。

（午後３時０４分 閉会）

八代市議会委員会条例第３０条第１項の規定により署名する。

平成２８年８月４日

文教福祉委員会

委員長